



平成27年1月28日

荒尾市長 山下 慶一郎 様

荒尾市民病院あり方検討会

会長 小野 友 道



荒尾市民病院中期経営計画の実施状況に関する点検・評価報告書の提出について

荒尾市民病院あり方検討会において、荒尾市民病院中期経営計画の平成21年度から平成25年度までの実施状況を点検・評価した結果、別紙のとおり、報告書を取りまとめましたので、ここに提出いたします。

なお、本計画期間中の実施状況については、平成21年度以降、増収・増益が続き、全般的には順調に推移しておりますが、建設から40年以上が経過し、増改築を繰り返した施設においては、療養環境が最適とは言い難く、効率的な運用は限界を迎えております。

このような現状を踏まえた上で、本計画の推進にあたっては、下記の事項に留意され、その実現に努められるよう切に希望します。

記

1. 「経営基盤の安定化」を図る上では、これまで以上に細やかな取組みが必要であり、管理会計を用いた、コスト構造を可視化し各種分析的情報を改善活動や意思決定に活用する取組みや、医業収益向上に直結する医師確保に努めること。
2. 平成25年10月に諮問を受けた新病院の建設に向けた検討については、「新病院建設基本構想」において、荒尾市民病院が求められる役割や機能を定めたものである。人口5万5千人の荒尾市という都市に、これだけの機能を備えた公立病院があるということは地域の住民にとって貴重な財産である。子や孫が暮らす後世に、この貴重な財産を引き継いでいくために、建設へ向けた歩みを着実に進めていただくよう切に願うものである。
3. 点検・評価の過程で提起された多くの意見については、計画・実施段階における検討材料として十分参考にされたいこと。

【添付資料】

1. 荒尾市民病院中期経営計画の実施状況に関する点検・評価報告書 (1部)
2. 荒尾市民病院中期経営計画の実施状況に関する点検・評価資料 (1部)